

第6学年 病気の予防「薬物乱用の害」 (保健体育) 略案

指導者 佐藤 睦子

1, 日時 12月6日(水) 13:35 ~ 14:20

2, 本時のねらい 薬物乱用の害について知り, 対処法について考えることができる。

3, 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
13:35	1. シンナーが含まれている物のおいを嗅いだときの様子について発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物について学習するという意識をもたせるために, ニス, ペンキ, 接着剤, 油性マジック, なげなどのにおいを嗅いだ経験のある子どもから様子発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 薬物の定義や種類, 乱用することによって出てくる障害等について, 映像資料等をもとに専門的な説明をする。 子どもたちの発表を受けて実例の紹介や映像資料をもとに専門的な補助説明をする。 子どもと役割演技をする。(センターの先生が勧め役) 	
13:40	2. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">薬物の害を知り対処の仕方について考えよう。</div>			
13:45	3. 薬物にはどんな物があり, どんな危険があるのか知る。			
13:55	4. どんなきっかけで始まるのか考え, 実例を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 家族から聞いたこと, TVで見たことなども扱う。 		
14:00	5. 勧められたときの対処法を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉でまとめられるよう, シートを準備しておく。 		
14:10	6. 学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">薬物の恐ろしさが分かり, 対処の仕方を考えることができている。(シート・発表)</div>			

